

ソフトクローゼングダンパー 取付説明書

ポルタ 60/100・ディバイド100用

部品セット品番
042-3102-072
042-3102-071

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

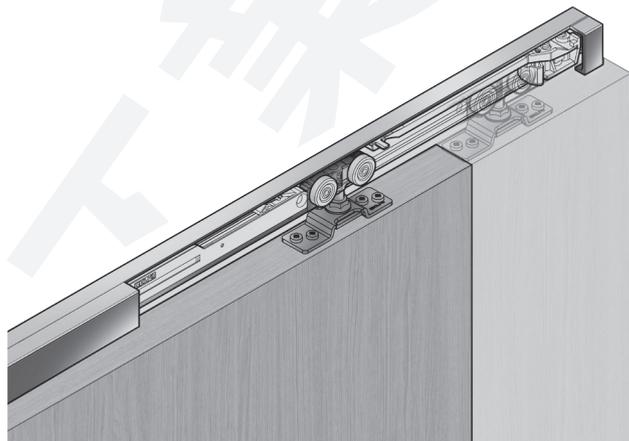
本書は、2モデルの製品共通の取付説明書です。あらかじめ、どの製品モデルの取り付けを行うかご確認ください。各モデルについて次のように記号化してあります。

本製品について

- 扉をゆっくりと滑らかに閉じるためのダンパーです。
- 双方向にソフトクローズさせる場合は、本製品が2セット必要です。

対応製品

ポルタ	60H、100H、60HC、100HC、 60HM、100HM、60HMT、100HMT、 60HMD、100HMD、100GW、 100GWF、100G、100GF、100GM、 100GU、100GFO
ディバイド	100HM、100H、100GRM、100GR



正しく安全に取り付けていただくために

図記号の意味

 警告 注意	 禁止	 厳守
---	---	---

警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

- ❶ 本製品の施工は、知識、経験のある方が本書に従い正しく行なってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより、思わぬけがをするおそれがあります。
- ❶ 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を製作してください。
また、ねじは必ず指定したものを使用し確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、上レールや扉などが脱落してけがをするおそれがあります。
- ⊘ 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- ⊘ 本書で説明する部分以外の分解、および改造は行わないでください。

注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

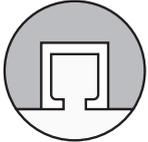
- ❶ 本製品は建具を構成するための部品です。施工後に、最終製品としての機能および安全性をご確認いただくと共に、建具自体の安全に関わる使用者への注意喚起もおこなってください。
- ❶ 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ❶ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。切りくずがレールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。
- ❶ ガラスは、強化ガラスまたは強化合わせガラスを使用してください。
強化ガラスには飛散防止フィルムを貼ることをお勧めします。但し、製品によっては、ガラスと製品が接触する範囲の飛散防止フィルムを除去することをお勧めします。
- ❶ フィルムのずれが原因でガラス扉が下がり、開閉動作に支障が出るおそれがありますので、ガラス加工業者やフィルム業者にご相談ください。
- ❶ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください。(お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください。)

使う工具と準備していただくもの

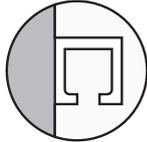
- プラスドライバー (1番、2番)
- 六角レンチ 呼び 2.5、3
- 金属用のこぎり
- ドリルビット φ2 (金属用)

ピクトの説明

本文の中に配置している以下のピクトはそれぞれの仕様を示します。



埋込仕様



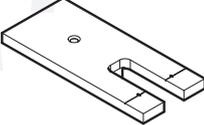
壁付仕様

部品一覧

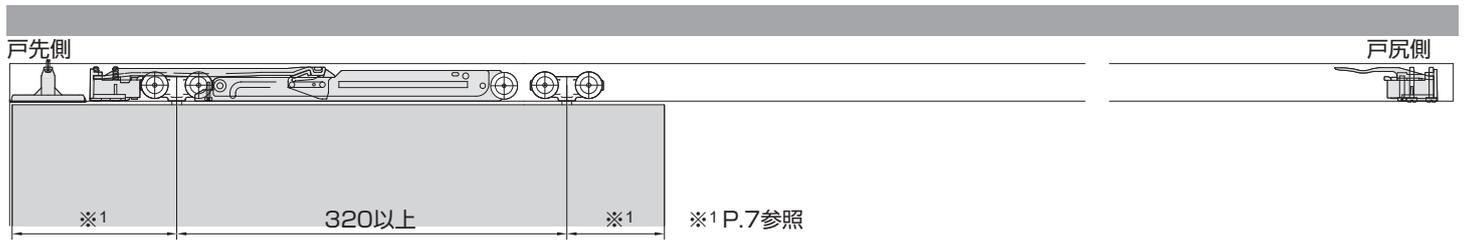
扉質量 20 ~ 60kg	42-3102-072
扉質量 61 ~ 100kg	42-3102-071

①ダンパー本体  1ヶ	②トリガー  1ヶ	③取付ねじ 十字穴付バインド小ねじ M3×12 1ヶ 十字穴付バインド小ねじ M2.5×8 1ヶ 六角穴付止ねじ M5×8 1ヶ
--	--	---

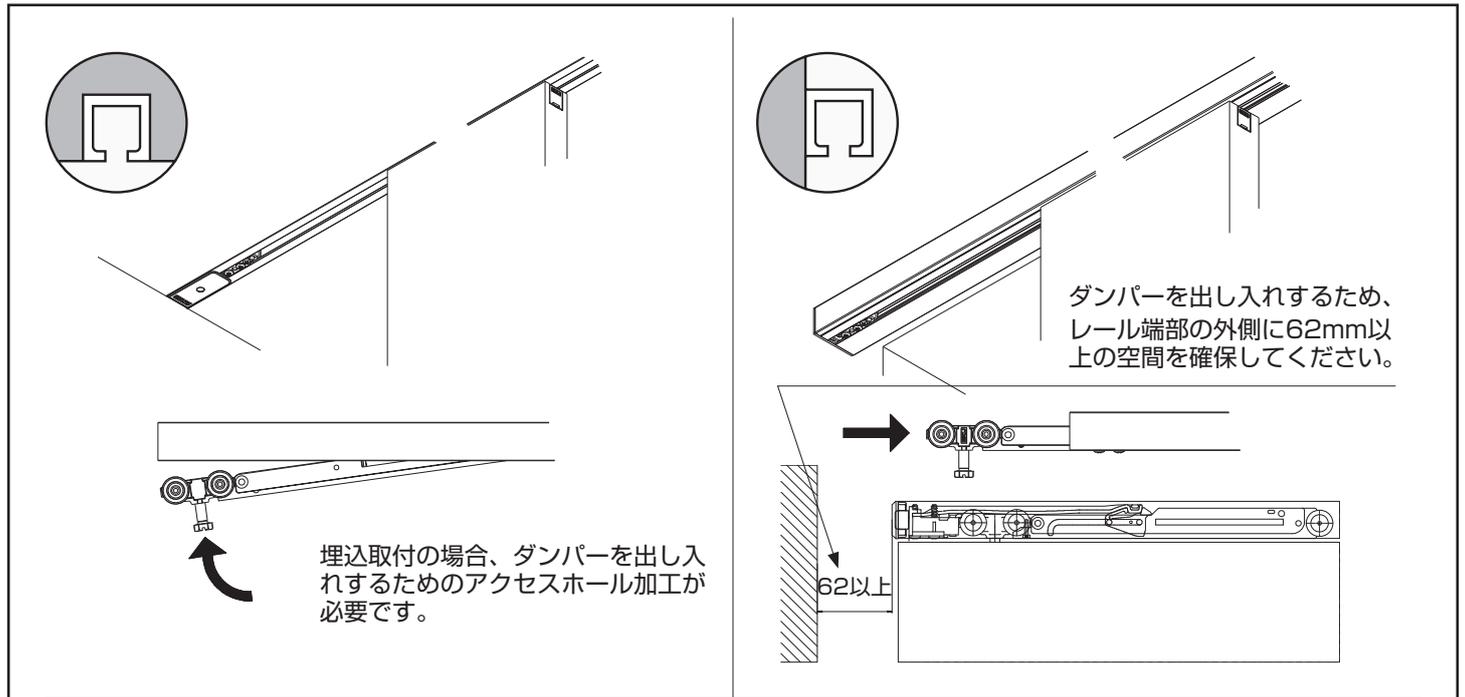
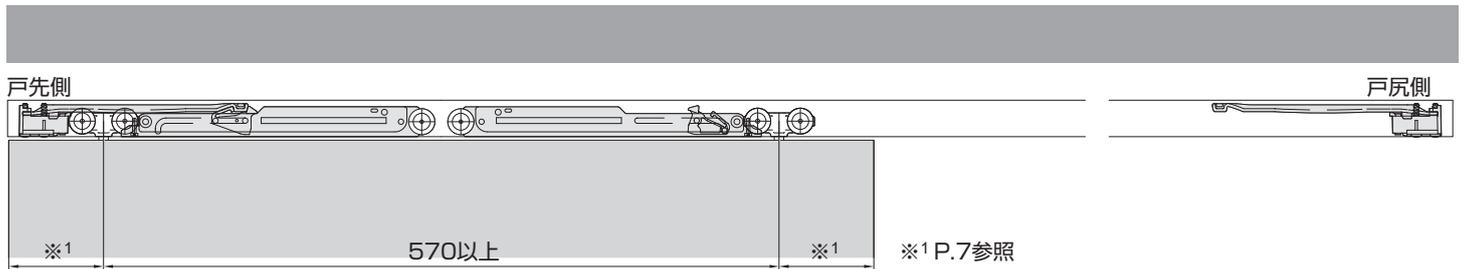
オプション部品

④カバーキャップ 〔品番〕 42-3114-071 	⑤加工治具 〔品番〕 42-3118-071 
⑥エンドミル 〔品番〕 600-0000-309 	⑦レールクリーナー 〔品番〕 57-3099-071 

片側取付例



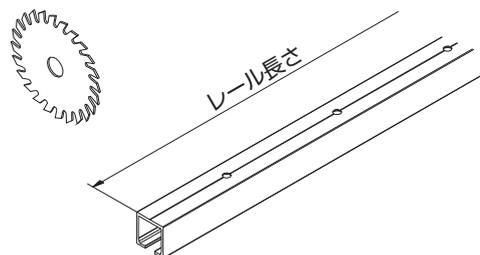
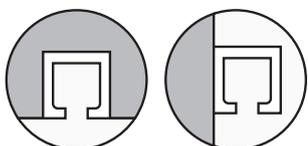
両側取付例 (戸袋収納仕様の場合、戸袋側 (戸尻側) には設置しないでください)



1 レールの切断

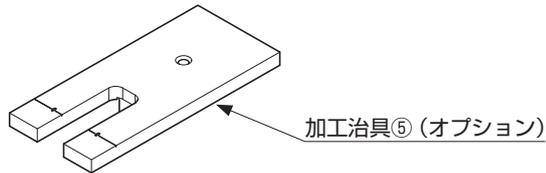
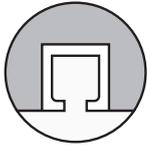
⚠ 注意

- 上レール内のごみやアルミの切粉などは、きれいに取り除いてください。

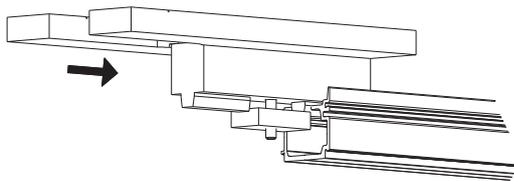


2 アクセスホールの加工

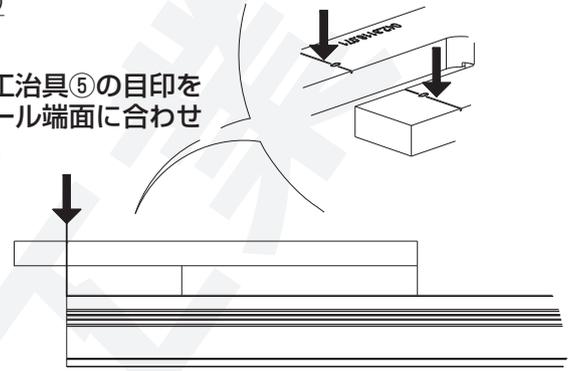
レールを埋込取付する場合は、ダンパーを下から出し入れするためのアクセスホールが必要です。
また、壁面取付の場合でも、アクセスホールを設けた方がメンテナンスがしやすくなります。
オプションの加工治具を使いレール端面を加工してください。



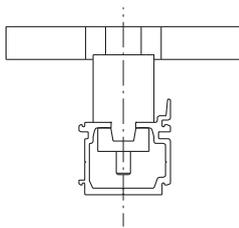
① レールに加工治具を差し込む。



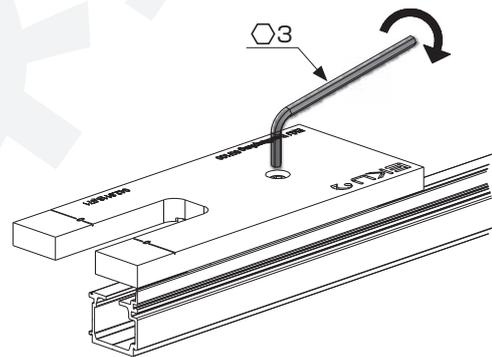
② 加工治具⑤の目印をレール端面に合わせる。



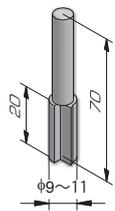
③ レール溝と加工治具のセンターラインを合わせる。



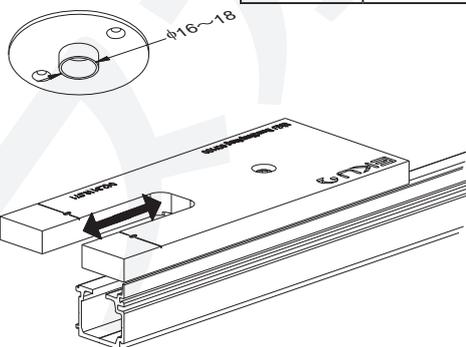
④ 加工治具を固定する。



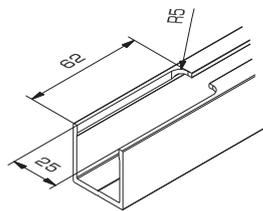
⑤ アクセスホールを加工する。



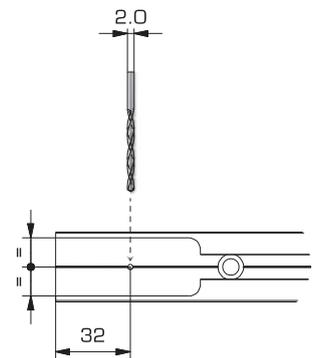
ガイド径	ドリル径
16	9
17	10
18	11



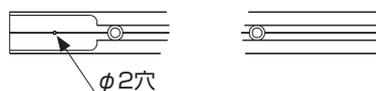
⑥ 寸法を確認する。



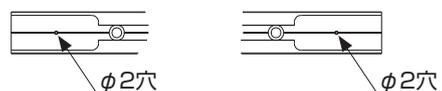
⑦ カバーキャップ用の取付穴加工



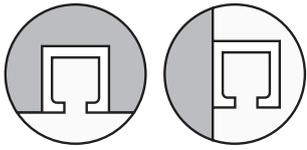
片方向取付の場合



両方向取付の場合 (切り欠き、穴あけも両側に行ってください)

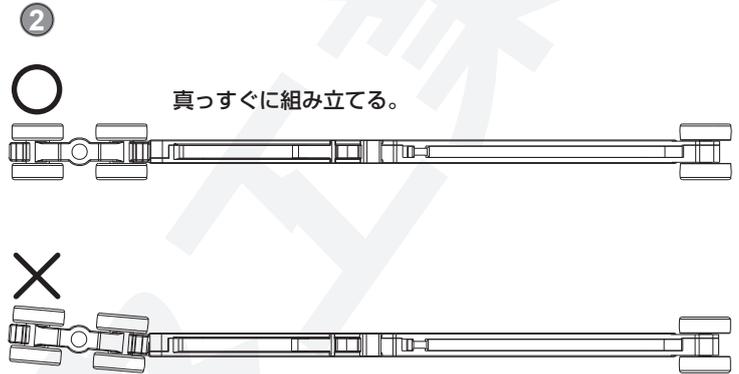
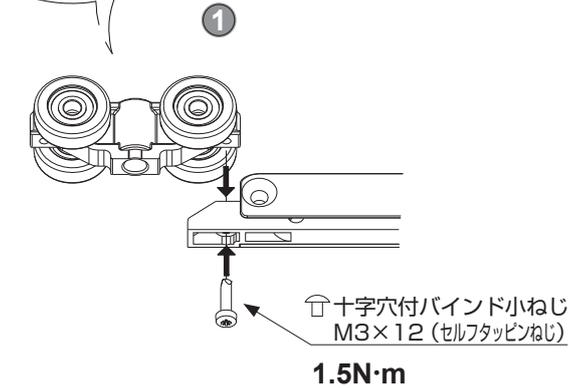
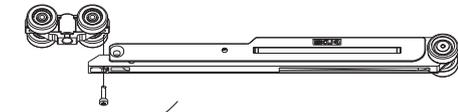


4 ローラーの取付け



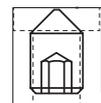
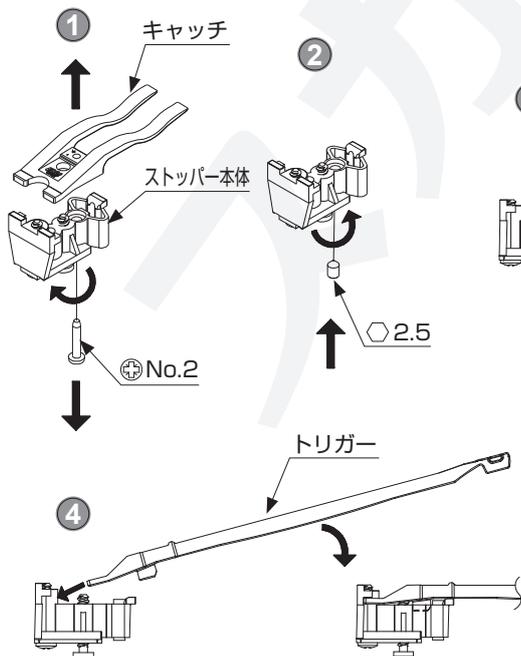
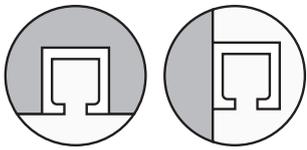
⚠ 注意

ローラーにはめねじ加工がされていません。
付属の M3×12 (セルフタッピンねじ) は、ゆるみがないように 1.5N・m のトルクでしっかり締め込んでください。



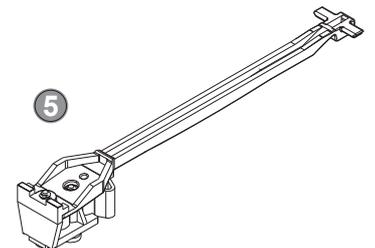
5 トリガーの組立て

ダンパーを効かせる側のストッパーからキャッチを外し、トリガーに付け替える。

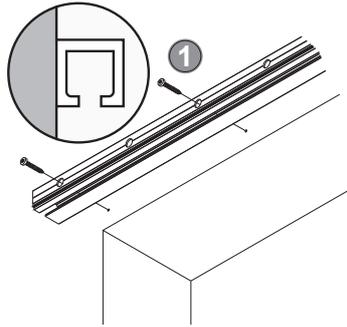
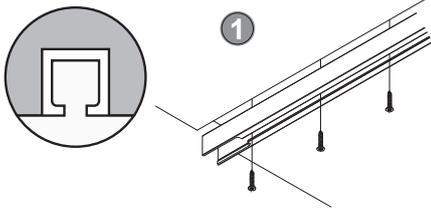


この段階では
ねじが飛び出さないようにする

トリガーはストッパーとほぼ
平らになるように押し込む。



6 上レールの取付け

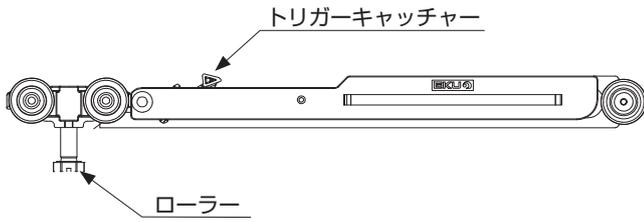


2 レールクリーナーなどで、レール内を掃除する。

レールクリーナー⑦
(オプション)



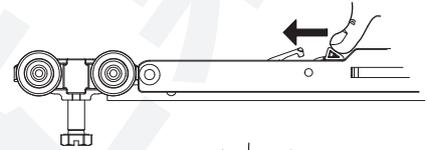
トリガーキャッチャーが、ローラー寄りであることを確認する。



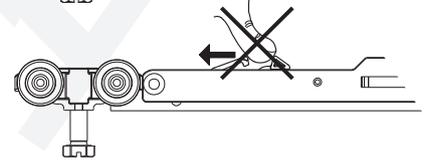
もし動いていたら、ローラー側に移動する。

必ず、キャッチャーの後ろを押してください。

正しい動かし方

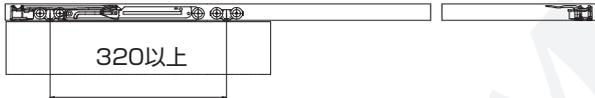


誤った動かし方

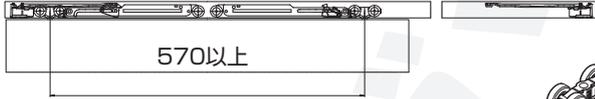


7 レールへの部品挿入

【1】片方向取付の場合



【2】両方向取付の場合



⚠ 注意

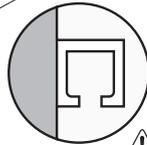
⚠ 上レール内のごみやアルミの切粉などは、きれいに取り除いてください。

【1】

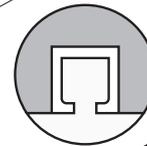
【2】

⚠ 注意

挿入時、トリガーキャッチャーを上レールの端にぶつけて、キャッチャー位置がずれてしまうことがあるので、注意してください。ずれた場合、上記 6 の説明に従い戻してください。

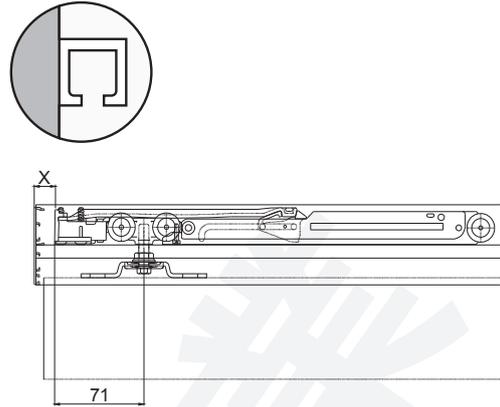
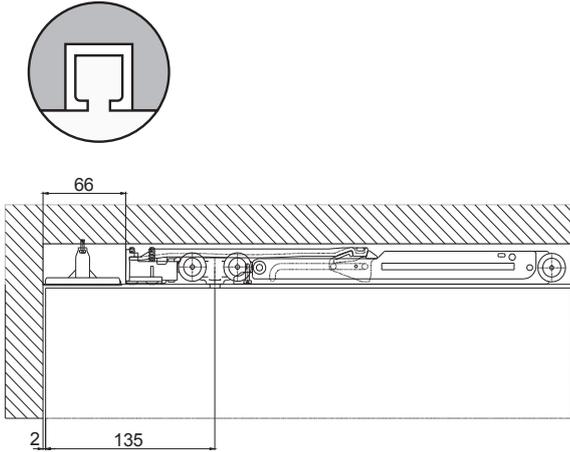


レール端面から本体を挿入。



加工した溝から本体を挿入。

8 ローラー吊軸の位置と扉の閉じ位置について



注意
 ① レール端部の外側に 62mm 以下の空間がない場合、レール端部に切り欠きを設けてください。(左図)

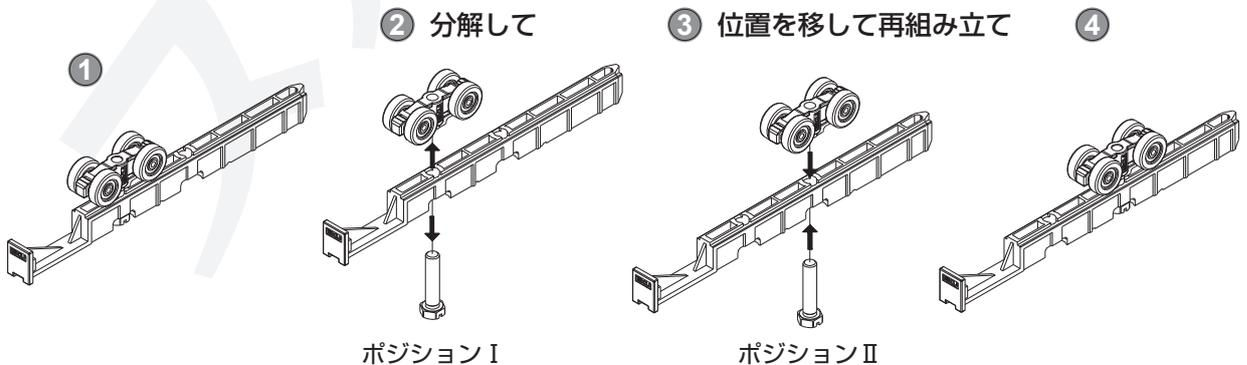
X寸法 (ストッパー取付位置) については、ポルタまたはディバイドの説明書を参照してください。

重要

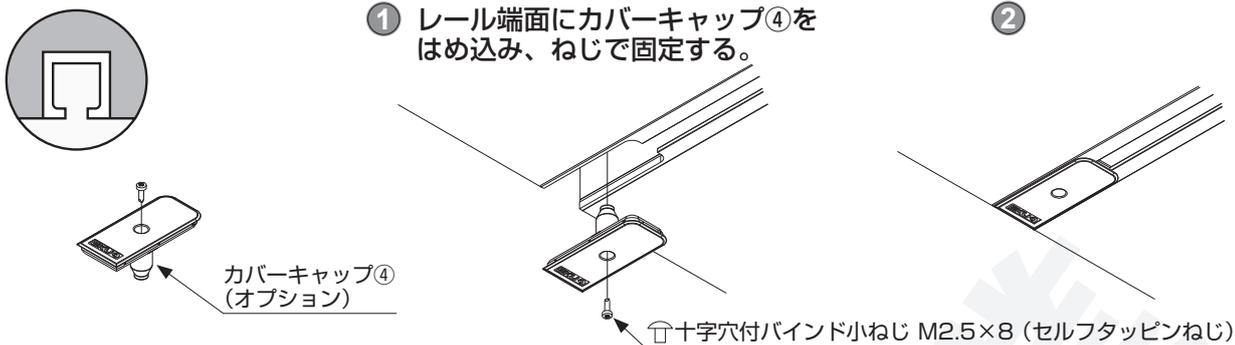
いずれの場合も、扉と縦枠の間に 2mm のすき間を設けるようにしてください。このすき間が設けられないと、ダンパーが扉を完全に引き込む手前の状態が維持され、トリガーキャッチャーが変形し、ダンパーが機能しなくなることがあります。光もれ等の問題には戸じゃくり等で対応してください。

ポルタ (ディバイド) HMタイプ、HMDタイプでレールにアクセスホールを設ける場合、ローラー吊軸の位置を変える。

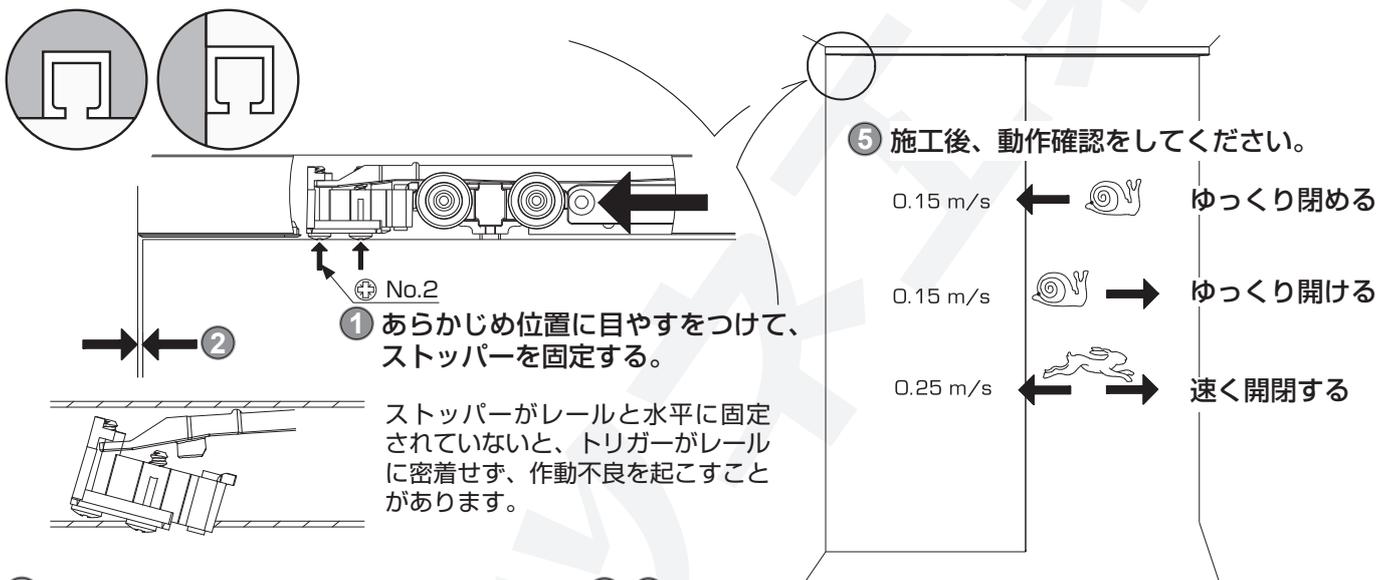
(ポルタ60HM / 100HM
 ポルタ60HMP / 100HMD
 ディバイド100HM)



9 カバーキャップ(オプション) の取付け



10 ストッパーとトリガーの固定



② 扉を開けて位置を確認する。合わない場合は①②をくりかえす。

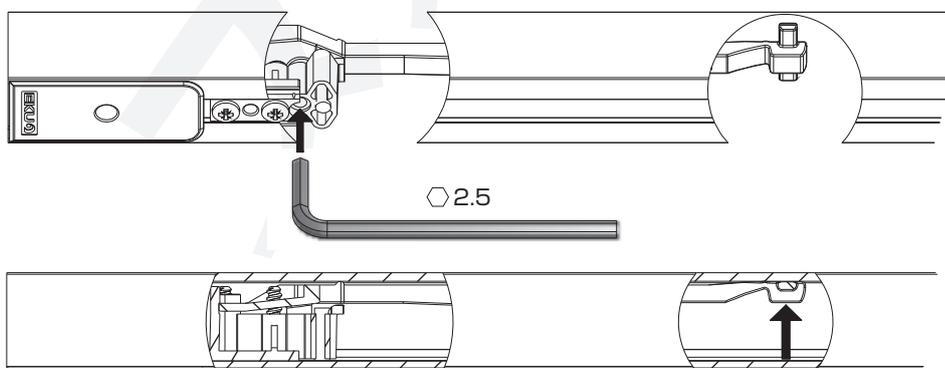
※ 必ず扉と縦枠の間にすき間が残るようにしてください。

③ 位置が決まったら、後ですることがないように、しっかりと固定してください。

注意
① 締付トルク: 2 N・m

④ トリガーを上レールにしっかりと押しつける。

※ 特にトリガーが接する部分の上レール取付ねじは、確実に締め込み、トリガーを上レールに密着させる。



本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお問い合わせいたします。

電話番号 **03(3864)1122**

受付時間 **月～金 9:00～17:30** (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03(3863)6875

E-mail: support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区若本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE **スガツネ工業**
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384) ・ ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001: 物流 WEST を除く、国内拠点 ※ISO14001: 千葉工場および物流センター (SBC)
https://www.sugatsune.co.jp/ 2019.12 0537-8